

会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称

松川町環境審議会

2. 開催日時

令和5年11月29日（水）18時30分 ～ 20時15分

3. 開催場所

松川町役場 2階 協議会室

4. 出席者氏名

出席委員 14名

米山 郁子、細田 勉、坂巻 勲、佐々木 孝子、米山 由子、正井 広昭、
山崎 隆、小椋 吉範、橋爪 和也、鎌倉 正孝、知久 克志、小川 隼人、
保城 充子、久保田 菜美子

欠席委員 なし

町 長 北沢 秀公

事務局 住民税務課 伊藤 孝光、米山 敏、塩澤 蓮

まちづくり政策課 下井 昭二、大橋 良平

業務委託者 RE 諏訪湖株式会社 2名

5. 議題（公開又は非公開の別）

(1) 令和5年度松川町地球温暖化対策実行計画策定支援業務の委託について
公開

(2) 令和5年度松川町地球温暖化対策実行計画策定支援業務報告（第1回）につ
いて松川町環境基本計画の趣旨について
公開

6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7. 傍聴人の数 0名

8. 会議資料の名称

(1) 令和5年度松川町地球温暖化対策実行計画策定支援業務の委託について

(2) 第1回環境審議会資料

(3) 第3期松川町役場地球温暖化防止実行計画（事務事業編）

(4) 第4次松川町環境基本計画（令和2年度～令和5年度）

9. 審議の概要

(1) 開 会 事務局長

(2) あいさつ 北沢町長

(3) 自己紹介

(4) 環境審議会及び委員について

(5) 任命書交付（机上配布）

(6) 会長、副会長の選出

会長：米山郁子氏、副会長：細田勉氏

(7) 協議事項

① 令和5年度松川町地球温暖化対策実行計画策定支援業務の委託について

② 令和5年度松川町地球温暖化対策実行計画策定支援業務報告（第1回）について

事務局より一括説明

(8) その他

〈質 疑〉

委 員：経費が多くかかるが、補助事業はついているのか。

事 務 局：方針の中で使える補助金を有効に活用して、できる限り住民に負担がかからない様にしていく。その点については次回までにまとめて報告する。

委 員：山に酸素を生み出すような植物をしっかりと育てていく、そんなことを一緒に考えることは可能なのか。

事 務 局：もちろんです。森林の吸収量を上げるということで CO2 を下げることも可能なため、そういったことも計画の中に入れていきたいと考えている。

委 員：電気自動車について、乗っている方の話では買い物に行く際に充電場所が少ないため心配であり乗れないと聞くが、充電場所をつくるなども考えていけるものなのか。

事 務 局：電気自動車化は地域ぐるみで進めていかななくてはいけないと感じている。そのため、今後の町の計画として検討していかなくてはならない。

委 員：太陽光パネルは天候に左右されやすく景観もよくないと感じている。そのため、水力発電の方が天候に左右されにくく、ロスが少ないと感じているがその点はどう考えているか。

事 務 局：その通りだと思います。そのため、今回の調査結果を含めながら、2050年を超えた未来に松川町がどんな景観になっていくかを考えて、今後計画を立てていきたい。

委 員：清流苑の改修工事に伴い、バイオマスボイラー新規導入はあるか。

町 長：現時点の財源では非常に厳しいため、今後検討していきたい。

委 員：脱炭素は 2050 年に向けて世界的に進めていくものであるため、町として全体感を見てこの委員会で指針を出していかないといけない。再生エ

エネルギー化を考えていくうえで、具体的に1世帯(家庭)での規模感(基準)が数字であるとわかりやすい。

事務局：家庭の省エネ化の目安がどれくらいなのかを示しながら、各家庭の方が意識して取り組めることは何なのかなどを周知できればと考えている。

委員：再生エネルギーの方法はいくつかあるが、松川町ならではの再生エネルギーにも取り組んでいったらどうか。

事務局：最新技術については多く研究されているが、松川町の地球温暖化対策実行計画を策定していくうえでは、今使える技術(実証段階を終えて社会実装されているもの)の中から選択していくというのをベースで考えたい。

委員：太陽光パネルの寿命は25年と言われているため、25年後に大量の廃棄物を次の世代に残してしまうことになる。それよりは町の6割の森林を活かして、林業される方を増やしたり、森林整備で生じた間伐材を利用して薪ストーブを設置するなどの長期的な視点で考えてはどうか。

事務局：貴重な意見ありがとうございます。

委員：薪ストーブはいいけれど、薪を燃やせる状態にするまでに時間と金とずくが必要になり、まだ灯油の方がはるかに安い。その点をクリアしないと厳しい。

委員：塩尻市にバイオマスの発電所があるが燃料が不足にすごく苦労しているため、将来を見通すのにバイオマスボイラー設置するのはいかがなものか。

委員：このような話合いの場をもっとつくればいろんな意見がでると思う。そのため、この会議では方向性を決めたらどうか。

会長：町の方でどう進めていったら良いか審議願いたい。

町長：今年度については、調査をすることとビジョンを決める事がメインになる。来年度以降は計画をつくることになるが、今年度は残り2回で調査の報告をしていき来年度に続けていきたい。

事務局：脱炭素に向けてこの審議会の方々にはご理解をいただきながら、なぜ脱炭素をしなければならないのかということ審議会の委員の皆さまから町全体に広めて行ってほしい。みなさんの意見をいただきながら最終的に町全体に普及をしながらみなさんと松川町の未来を考えていきたい。

会長：今日の意見を反映できるように次回開催したい。

(9) 閉 会 副会長